

令和2年6月30日

発 言 者	発 言 要 旨
【新型コロナウイルス感染症対策に係る政府の対応についての審査】	
菊池(大)委員	国に対して、エアコン関係の財政措置をしっかりと求めていく必要がある。新たにエアコンを設置すると電気代など運用経費がかかるがその影響はどうか。
教育政策課長	令和3年度当初予算の要求までにエアコン設置による増加要因について調査する。
菊池(大)委員	高等学校におけるICT教育はどのように取り組んでいくのか。
高校教育課長	それぞれの高等学校が設定している教育目標や進路目標に密接に結びついてくる。例えば、工業高校ではCADを使って設計し、その設計図のデータを変換し3Dプリンターで製作している。今後も高等学校における活用事例の情報収集などを行っていく。
矢吹委員	タブレット等に導入しているOS、ソフトウェアの選定状況はどうか。
義務教育課長	文部科学省が示した4万5,000円という基本モデルのタブレットを配置予定だが、このモデルに導入されている基本的なソフトウェアで、授業では十分活用ができるかと聞いている。
矢吹委員	国に対して、タブレット自体に多くのソフトウェアを入れるのではなく、クラウドにつないで操作できるようなシステムになるよう要望すべきと考える。
矢吹委員	競技力向上の面からも部活動に関しては学校で部活動を抱え込む現状のあり方ではなく抜本的な制度変更について、国に対し働きかけていくべきと考えるがどうか。
スポーツ保健課長	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、部活動が再開できず、大会等のあり方についても様々な面で課題が出てきたと認識している。スポーツ庁、中体連、高体連、高野連等が話し合うきっかけになればと考えている。本県においても、関係団体等との協議の場を設けて大会のあり方や指導者の確保について検討していかなければならないと考えている。
菊池(文)委員	大規模自然災害が発生した場合、学校が避難所になる可能性があるが、体育館にエアコンを設置している事例はあるか。
施設整備主幹	県内で体育館にエアコン設備を整備している事例はない。
石黒委員	本県は教育山形『さんさんプラン』で、少人数学級を全国でも先んじて推進してきている。今後は感染症対策という観点においても少人数学級という視点が非常に大事だと考えるが、県としてどのように受けとめているのか。
教職員課長(兼)働き方改革推進室長	国ではこれまでも35人以下学級を打ち出しており、県としては中学校3年生までの35人以下学級を実現するように政府への提案という形で、毎年度、文部科学省に

発 言 者	発 言 要 旨
<p>田澤委員</p> <p>梶原副委員長</p>	<p>対して要求している状況である。</p> <p>私からは3点、意見を申し上げたい。1点目は今、急速にICT教育が叫ばれているが、日本はこれからデジタル教育大国に変わっていくべきである。県で専門家を何人か採用し、専門家がそれぞれの学校を回りながら指導することが必要と考える。2点目が、教員の長時間労働を排し、働き方改革につなげていくことで、教員に向いている優秀な人材が教員を目指すような取組みがこれからの子ども達のためになると考える。3点目は、コロナ患者及び医療従事者に対し、「差別をしない」という教育を徹底して欲しい。</p> <p>私の居住する地域では学校の統合が進み、自宅から小中学校への通学に際して、スクールバスを多く利用していることから、3密の回避に非常に苦勞している。スクールバスの感染防止対策について、国に対して要望すべきと考える。</p>
<p>【議案に対する質疑及び所管事項に関する質問】</p>	
<p>菊池(大)委員</p>	<p>学校施設の長寿命化計画について県及び各市町村の策定状況等はどうか。</p>
<p>施設整備主幹</p>	<p>平成25年に政府が決定した「インフラ長寿命化基本計画」において、公立学校施設については、令和2年度までに長寿命化計画を県内の各教育委員会が策定するよう求められている。</p> <p>県立学校の計画は、間もなく策定を完了し、市町村においては、10団体が策定済み、残る市町村もほとんどは年度内に策定を完了する予定であるが、年度途中で作業の状況を確認し、相談に応じるなどの対応を行いたい。</p>
<p>菊池(大)委員</p>	<p>子供たちがよく使う校舎等の施設のみならず、天井、窓等の非構造部材も含めて、耐震化の状況はどうか。</p>
<p>施設整備主幹</p>	<p>文部科学省で行った昨年の4月1日現在の調査において、県内の小中学校、高校、特別支援学校といった公立学校の合計で98.7%が耐震化を完了している。残りの施設は小中学校が3市町村で4棟、県立高校が8棟ある。</p> <p>また、非構造部材については、東日本大震災などで建物の骨格ではない「つり天井」、「照明」、或いは「体育館のバスケットのゴール」等が落下し、人的な被害が発生したことから耐震化を進めており、県内の公立学校全体で96.8%という状況である。対策未了の施設については、個別の状況を定期的に確認しながら、耐震化を促していきたい。</p>
<p>菊池(大)委員</p>	<p>全国の学校施設の9割程度が避難所に指定されていると聞いている。学校のトイレの洋式化、スロープによる段差解消など、防災拠点としての機能についてはどうか。</p>
<p>施設整備主幹</p>	<p>昨年4月1日現在で、県内の公立学校395校中374校が避難所に指定されているが避難所となる体育館について、スロープによる段差解消が図られている施設は全体の42.2%、障がい者などに配慮した多目的トイレが体育館にある施設は26.3%となっている。</p> <p>トイレの洋式化率については、小中学校で41.2%。高校については37%、特別支</p>

発 言 者	発 言 要 旨
菊池 (大) 委員	<p>援学校については73.8%という状況になっている。</p> <p>いわゆる文化系の部活動において、様々な演奏会がコロナ禍で中止されている印象である。学校行事がキャンセルとなった場合の考え方と、演奏会の開催など今後の文化活動に関する考え方はどうか。</p>
高校教育課長	<p>修学旅行や学年等で企画している行事などがキャンセルされた場合、その経費については基本的に保護者の積立で対応することになるが、キャンセル料等が発生しないような形で感染防止対策などを考慮して学校行事の見直しを図るように指導している。また、文化部の活動については、8月に全国の高等学校総合文化祭、10月に県の総合文化祭を予定している。</p>
菊池 (大) 委員	<p>最近、クマが多く出没している状況だと思うが通報状況はどうか。</p>
理事官兼地域課長	<p>クマの通報状況について、令和2年5月末現在、昨年同期と同数の63件となっており、内訳は目撃情報が前年同期比9件の増の60件、出没情報が前年同期比10件減の2件、人的被害が前年同期比1件の増の1件となっている。</p>
菊池 (大) 委員	<p>目撃された場合、各市町村や猟友会をはじめ関係団体との連携など、実際に緊急時の対応はどのような形で行われているのか。</p>
理事官兼地域課長	<p>クマを追い払うための爆竹を警察署やパトカーに装備をしているが、クマによる危険が差し迫っている場合、警察だけでは対応できない。駆除するためには、自治体や猟友会等の協力が不可欠であるため、連携して対応しているところである。クマが住宅地に出没した際、警察官が猟友会の会員に対して発砲を指示した事案が令和元年に酒田市で1件がある。</p>
矢吹委員	<p>『さんさんプラン』を実施し、少人数学級と学力の相関性の検証はどのようになっているか。</p>
義務教育課長	<p>学力がどの程度伸びているかを検証するための指標が全国学力・学習状況調査であるが、今年度はコロナ禍の影響で中止となった。また、県独自に、中学2年生と小学5年生を対象に実施していた県学力等調査も今回は中止とした。そのような中でも、確かな学力を育成するため、少人数学級編制のよさを生かした授業改善につながるような各学校でのアクションプランの作成・取組みを促すとともに、その成果を確認していきたいと考えている。</p>
矢吹委員	<p>教員の数はいまだ不十分であり、もっと充実することで児童生徒それぞれに個別に対応した教育が実施されるようICT化の推進を含め真剣に考えてほしい。</p>
矢吹委員	<p>統合型校務支援システムについて、山形県は統一的なものが導入されていると聞いたが現状はどうか。</p>
高校教育課長	<p>統合型校務支援システムについては令和3年度から県立高等学校及び県立中学校において運用を開始する。現在、システムの構築を進めているところであり、教職員が他校に異動しても、成績処理や指導要録の作成、健康管理等が同じシステムで</p>

発 言 者	発 言 要 旨
<p>矢吹委員</p> <p>義務教育課長</p>	<p>行うことができるようになる予定である。</p> <p>教員のICT研修やプログラミング教育の取組みについては外部の専門家の力を活用すべきと考えるが状況はどうか。</p> <p>「GIGAスクールサポーター」は今年度より、学校の環境整備を行うICT技術者の配置を予定しており、「ICT支援員」は平成30年度、県内5つの自治体で9名を配置している。ともに技術力のある人材の確保が大きな課題である。</p>